

古田肇知事に準優勝を報告した杉浦冬唯選手＝県庁



全日本実業個人柔道男子66^キ級

県庁を訪問

杉浦選手(松波総合病院)準Vで喜び

柔道の全日本実業個人選手権(8月、兵庫県尼崎市)

で男子66^キ級に出場し準優勝に輝いた松波総合病院柔道部の杉浦冬唯選手(22)が県庁を訪れ、古田肇知事に今後の活躍を誓った。

杉浦選手は愛知大を卒業後、今年4月から同病院柔道部に所属。事務職で働きながら稽古に励んでいる。同選手権には初出場。

県庁で古田知事から得意技を尋ねられた杉浦選手は、多彩な技の一つにやぐら投げを紹介。やぐら投げは高校3年で練習を始め、大学2、3年の頃に実戦で使えるようになり、昨年度の全日本学生体重別選手権

の準々決勝ではやぐら投げで一本を取ったという。

8、9日に栃木国体成年男子に団体戦の次鋒として、30日には準優勝で出場権を得た講道館杯全日本体重別選手権に挑む。準優勝

の悔しさをばねに杉浦選手が「いずれも優勝したい」と誓うと、古田知事は「(県柔道の)トップランナーとして頑張ってほしい」とエールを送った。

(松田尚康)